

【管理運営状況公表様式】

平成30年度 青森県総合社会教育センターの管理運営状況

県所管課	教育庁生涯学習課
指定管理者	豊かな学びを育む青い森グループ (代表者である団体) 一般社団法人青森県すこやか生活支援機構 (構成員) 青森コミュニティビジネス株式会社
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日

1 管理業務の実施状況

業務区分	概要
施設の使用許可に関する業務	青森県総合社会教育センター条例及び同規則の規定を遵守し、公正な貸室業務に努めた。 また、利用者サービスの向上のため、開所時間を延長し19時まで(貸室は21時まで)としたことにより、施設の利用促進が図られ、研修室利用者数が増加した。
施設の維持管理に関する業務	日常的な清掃業務等の実施や、敷地内の植樹・樹木等の適切な管理の実施など、快適に利用出来る施設環境の整備に努めた。 また、防犯カメラによる監視や、施設内等の適宜巡回等の防犯対策を適切に実施し、安心して利用出来る施設環境の維持に努めた。
施設の業務の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・あおもり県民カレッジ運営業務 各地域の連携機関と協力体制を組み、地域のニーズに合った学習機会を提供した。また、カレッジの積極的な周知活動を行い、カレッジ学生が増加した。そのほか、県内全域において学友会活動の支援を行い、活動が活発でない地域に対しても学習活動の促進のための前向きな取組を実施するなど、県内全域の学習活動の振興に努めた。 ・インフォメーションプラザありす運営業務 窓口対応時間を19:00までに延長し、県民サービスの向上を図ったほか、ラーニングスペースとして開放して学習活動がしやすい空間としたなど、より利用しやすい環境づくりに努めた。 また、利用者カードを作成し、所有者は空き研修室を自主学習室として利用できる取組を実施した。そのほか、カレッジ学生や連携機関が作成した書画・絵画等の展示も行った。
自主事業	「新しい学び」の機会を提供することを目的に、より高度な学習が出来る講座や、カレッジ学生やセンターボランティアを講師とした講座など、様々な自主事業を計画したが、指定管理者としての運営が初年度であったことなどにより、当初計画通りに全て実施することは出来なかった。

2 管理施設の利用状況

利用指標	年 度	計 画	実 績	計画対比	前年度対比
研修室等利用者数 (人)	2 4	54,742	54,210	99.0%	104.0%
	2 5	56,400	62,236	110.3%	114.8%
	2 6	58,500	54,880	93.8%	88.2%
	2 7	58,000	60,558	104.4%	110.3%
	2 8	60,000	61,004	101.7%	100.7%
	2 9	60,000	67,096	111.8%	109.9%
	3 0		85,512		127.4%
インフォメーション プラザありす来 場者数 (人)	2 4	12,880	13,785	107.0%	117.7%
	2 5	14,300	15,171	106.1%	110.1%
	2 6	15,700	15,623	99.5%	103.0%
	2 7	16,000	22,933	144.2%	146.8%
	2 8	16,500	33,143	200.9%	144.5%
	2 9	23,989	29,688	123.7%	89.5%
	3 0		21,596		72.7%
あおもり県民カレ ッジ学生数 (人)	2 4	17,102	16,329	95.5%	105.0%
	2 5	18,600	17,011	91.5%	104.2%
	2 6	21,600	19,085	88.4%	112.2%
	2 7	新規入学者 500	681	136.2%	(前年度 2,198) 30.9%
	2 8	新規入学者 500	1,929	385.8%	283.3%
	2 9	年間学生数 20,000	22,177	111.0%	(前年度 21,018) 105.5%
	3 0	年間学生数 22,016	23,452	106.5%	105.7%
<p>【増減理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修室等利用者数 祝祭日の開所・開所時間及び電話対応時間の延長、研修室前への看板表示等のサービス、連携機関等訪問時に利用を呼びかけるなど、堅実な利用促進活動を行った結果、利用者数が増となった。 ・インフォメーションプラザありす来場者数 来場者への良好な対応、フリーWi-Fiの提供、ラーニングスペースとしての開放、ほのぼののルームの運営など、利用しやすい環境づくりに努めたものの、前年度よりは利用者数は減少した。 ・あおもり県民カレッジ学生数 センター内における講座や、生涯学習フェア、各連携機関のイベントでの広報活動といった積極的な周知活動に努め、また、テレビ・ラジオ・新聞といった各種メディアにおいて効果的な広報活動を実施した結果、新規入学者・除籍者を含めた年間学生数の目標を達成し、学生数が増加した。 					

3 評価結果

評価項目	指定管理者自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組みが適切に行われているか。	3	3	開所時間の拡大、施設環境の整備、生涯学習フェアにおける新たな取組みの実施、県民からの学習相談への丁寧な対応など、利用者サービスの向上に努めていた。
②利用促進に向けた取組みが適切に行われているか。	3	3	一部計画通りに実施出来なかった事業は見受けられたものの、カレッジ学生の募集や各種イベントの実施の際に、テレビ・ラジオ・新聞といった多様なメディアを活用した広報活動を実施し、県内学校の児童・生徒による美術作品の施設内展示を通年で実施するなど、施設の利用促進を図る取組みに努めていた。
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	3	3	日常的な清掃業務等により快適に利用出来る施設環境の維持に努めたほか、必要な法定検査を適宜実施するなど、施設・設備の適切な維持管理に努めていた。
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	3	2	施設内を定期的に巡回し、安全・安心な利用に資する体制作りを努めたほか、避難訓練を実施し、有事の際の対応について研修を実施したが、改善が必要な事項も見受けられた。
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	3	3	経理処理を適切に行い、適正な指定管理料の執行に努めていた。また、施設業務に係る各種契約についても、適切に契約事務を執行した。
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか	3	4	多様なメディアを活用した積極的な広報活動や、施設利用サービスの向上に努めるなどの結果、目標を上回る成果が多く見受けられ、目標達成のための努力をし、その成果が出ていると認められる。
⑦その他法令等を遵守した管理運営が行われているか。	3	3	一部改善が必要な事項も見受けられたものの、改善の上、労働法令を遵守した管理運営を行った。また個人情報の保護に関する職員研修を実施するなど、個人情報を適切に管理するための体制作りを努めた。
総合評価	3	3	指定管理者としての運営が一年目であったこともあり、運営体制の確立に時間を要した部分も見受けられたが、県民サービス向上のための各種取組を適切に行ったほか、県内全域において、県民の学習意欲向上を図る取組を実施し、生涯学習の振興に資したなど、総合的に、青森県総合社会教育センターの設置目的に則った適切な管理運営が行われていると評価する。

○評価基準

- 5（秀）：業務水準書等の内容を上回り、特筆すべき実績をあげている
- 4（優）：業務水準書等の内容を上回り、優れた実績をあげている
- 3（良）：業務水準書等の内容が満たされている
- 2（可）：業務水準書等の内容が満たされず、一部改善を要する
- 1（不可）：業務水準書等の内容が満たされず、重大な改善を要する